



つなみ

広報



1996
1
No.360

1月のカレンダー

一日 元旦

三日 成人式(文化センター)

四日 役場仕事始め

十四日 三太郎駅伝大会
(水俣、田浦)

十五日 成人の日

二十一日 新春親子凧上げ大会
(総合グラウンド)



ふるさと
古里 かよさん (浜崎)
S47.12.5生 B型
ワインフードいわお勤務

- 仕事の話——「ワインフードいわお」で事務をしています。
- 趣味は何ですか——ドライブです。
- 最近あった出来事——以前から行ってみたかったハウステンボスに行って来た事と、先月一つ年をとった事。
- 理想の男性は——一緒にいて疲れない人がいいですね。
- 休日出没するところは——高校時代などの友達が出水市や阿久根市、川内市に居るので遊びによく行っています。
- 町への要望——もっと遊べる所があったらいいですね。
- 今年の目標は——年女なので、今年はずっと自分を磨きたいですね。

卵酒は、これぞ「本家」という作り方はありませんが、代表的な方法を紹介します。いづれの作り方も、用意するものは日本酒百八十ミリリットル(一合)と卵一個、それに砂糖少々。卵黄のみを使う場合は、卵二個を用意してください。

その一：日本酒を小さい鍋に入れ、沸騰させます。生卵一個を割りボールに入れてよくかき混ぜます。火を止めた鍋に、かき混ぜた卵を細く少しずつ入れながら、はし五、六本か泡立て器を使って、卵が固まらないように手早くかき混ぜます。このとき、すりおろしたシヨウガをひとつまみ入れます。好みによって砂糖を入れましょう。卵黄だけを使う場合は、ボールでかき混ぜる前に卵白を取



駐在所だより

今年から、「駐在所だより」を広報つなぎに掲載させていただくことになりました。回覧の駐在所だよりと同様によりよくお願いします。

一 岩城駐在所連絡協議会結成
岩城駐在所連絡協議会が、昨年の一二月二日に結成されました。

この協議会は、会員二一名(会長 役場総務課長)で、地域安全に関する情報を町民の方から聞き、それを警察に連絡するとともに、警察と連携して安全で住みよい津奈木町を実現するために結成されたものです。皆様のご協力をよろしくお願いします。

二 津奈木町地域安全対策会議開催
昨年の一二月、グリーンゲイトで町から町長、助役、収入役など五人、警察から署長、副署長、各課長など一〇人が出席して開催されました。

会議では、津奈木町治安対策の強化、赤崎駐在所の復活問題などについて話し合いがされました。この会議については、今後も開催される予定です。

三 盗難バイク二台発見
付近の方の通報により、昨年の一二月に合串で盗まれたバイク(ホンダ、カブ)二台を小津奈木の雑木林で見つけました。ご協力ありがとうございました。

交付手数料の改定前と改定後の金額

○戸籍の謄・抄本または記録事項証明書 1通	400円から450円に
○除籍の謄・抄本または記録事項証明書 1通	700円から750円に
○戸籍の記載事項証明 証明事項1件	300円から350円に
○除籍の記載事項証明 証明事項1件	400円から450円に

手数料が変わります

一月一日から戸籍の謄・抄本などの交付手数料が次のように変わります。

暮らしのポイント

昔から「風邪のひきはじめに卵酒」といわれ、家庭でよく作られています。飲まないでしようか。卵酒を飲んで寝ると、汗をかいて熱を下げ、栄養価の高い卵が体に抵抗力をつけてくれます。

卵酒を作る

その二：日本酒を、小さい鍋で沸騰しない程度に弱火で温めます。ボールに適量の卵と砂糖を入れてほぐします。卵黄だけを使う場合は、卵白を取り除きます。さましたお酒に、少量ずつ卵を加えて、固まらないようにかき混ぜます。もう一度弱火にかけて、煮すぎない程度に温めます。トロミがついたら火を止めます。

その三：電子レンジで、お酒を三十秒温めます。ボールに卵と砂糖を入れてほぐし、温めたお酒に入れて二分間レンジにかけます。途中で一度、卵が固まらないよう手早くかき混ぜます。

お酒に弱い人は、卵酒に酔い、気分が悪くなる場合がありますので、注意してください。

材料は日本酒と生卵と、砂糖少々

その二：日本酒を、小さい鍋で沸騰しない程度に弱火で温めます。ボールに適量の卵と砂糖を入れてほぐします。卵黄だけを使う場合は、卵白を取り除きます。さましたお酒に、少量ずつ卵を加えて、固まらないようにかき混ぜます。もう一度弱火にかけて、煮すぎない程度に温めます。トロミがついたら火を止めます。

その三：電子レンジで、お酒を三十秒温めます。ボールに卵と砂糖を入れてほぐし、温めたお酒に入れて二分間レンジにかけます。途中で一度、卵が固まらないよう手早くかき混ぜます。

お酒に弱い人は、卵酒に酔い、気分が悪くなる場合がありますので、注意してください。



「住みたくなる町津奈木」

新たな時代へ

津奈木町長 西川 裕

新しい年を迎え、町民各位におかれましては、清々しい中にも、心改まる毎日をお過ごしのことと存じます。

さて、昨年の年明けは、あの阪神大震災に始まり、地下鉄サリン事件、オウム教幹部逮捕と続き、世の中が騒然とした一年でした。新聞、テレビは、連日これらの報道に明け暮れ、上滑りな一過性の報道姿勢を露呈しました。国民の政治離れを、無責任に煽るような論調などには、不快の念さえ覚えたものです。

こうした状況の中で、地方の産業を取り巻く環境は、一層厳しさを増した一年でもありました。米の自由化、規制緩和の促進といった重大な問題が、次々と起るセンセーショナルな事件の陰に隠れ、十分な議論がなされないままに、財界主導、経済論議だけで押し進められていってしまう現状に、強い危機感を覚えます。報道にしても、経済優先、都会の人の視点に片寄りがちです。そうした中で、先日、ある新聞紙上の論壇で、農業が語られ、日本の自然、文化、そして日本人の生きる糧といった視点から、日本農業を守れという頼もしい意見が載っておりました。しかも、女性の学者からのものでした。田舎に住んで居る我々からではなく、都会の住民からの、そうした意見に接すると、共感と共に、ある種のうれしさを感じます。田舎の自然を守り、生活を守ることが、即、都会の人間の生活も守ることになるということ、私達、地方に住む人間が、もつと自信を持って発言し続けてゆかなくてはならないでしょう。日本の産業構造が、新しいメディアを中心としたソフト産業に移行しつつある今だからこそ、あえて、人間生活の基本である、農林漁業への根本的アプローチと施策が必要であると訴えたいと思います。

昨春秋、水俣・芦北が一つのエリアとして、広域的に協力し合える環境が整いました。個々の自治体の独自性を保ちながら、大きな問題には、四市町が一体となって対処してゆきます。長年の懸案でありました水俣病問題も、やっとな解決の方向に向いました。今後、患者救済と共に、地域振興に向けて、国県町が一体となって智慧を絞り、汗をかいてゆかねばなりません。



ゆとりある経営を 目指して

平成7年産 熊本県中晩柑振興大会



午後からはデコボン園を視察

十一月二十八日つなぎ文化センターで、「平成七年産熊本県中晩柑（デコボン）振興大会」が開かれ、県内各地から約五百名の生産者が集まりました。デコボンは熊本県の中晩柑を代表する品であり、消費者からの人気も高く期待されている産品ですが、減酸や貯蔵などの問題点があるため、早期に課題を解決し、生産の拡大を図ることが望まれています。そこで今回の中晩柑振興大会が熊本県果樹研究会等の主催で開催されました。

当日は、デコボン生産の現状や、今後の生産技術対策についての説明や「デコボン栽培に於ける問題点について」と題した講演のあと、現地視察がありました。

このような大会を通して、甘夏に続く日本のデコボンの産地として、安定した第一次産業の確立へと結びついていってほしいものです。

採れました、捕れました



物産ギャラリイグリーンゲイトでは、農協・漁協の青壮年部による「収穫祭」が、十二月十七日に行われました。

この収穫祭は、それぞれが作っている各種のみかん類や、不



知火海で捕れた魚類の干物や鮮魚を持ち寄り、観光客にPRして買っていただき、また消費者と直接のやりとりの中からニーズに即した産品づくりに役立てて低気味の第一次産業の活性化を図ろうと行つたものです。



またこの日は、第一回ということで、京都にドレミ村を設立し、自ら農業を営みながら環境保護を訴え音楽活動をしている天波博文さんも応援に駆け付けフォークソングコンサートが開かれました。

収穫祭は、今後も五月まで毎

十二支のトップ



今年の子年。昔は夜になると、ネズミが天井裏を走り回り、チュウチュウと鳴く声がかえたりしたものです。最近には純粋な日本家屋が減ってきているためか、家屋の構造が変わってきたからか、田舎でも天井裏を走り回ったり鳴いたりしているネズミは少なくなってきたのではないのでしょうか。

ネズミは、数も種類も多く、哺乳類の約半数、千七種を占めるといわれています。しかも、ほぼ全世界に分布しています。ネズミ算という言葉があるように、繁殖力がおう盛で、一回に二十匹の子を生む種類もあります。

人間は昔からネズミの害に悩まされています。ネズミは作物を荒らし、牧草地の根を食べたりします。イエネズミは貯蓄食料を食べ、ときには電線やガス管をかじって人間を困らせたりします。また、下水道などの不衛生な場所を通り道にするため、伝染病であるペストをもたらしすこともあります。古代のアテネやローマ帝国が滅亡したの



は、ネズミがもたらしたペストが原因だという説もあります。一方、ネズミの仲間でも、ハムスターなどの種類は、実験動物として医学の進歩には欠かせません。

身近な動物だけに、ことわざにもしばしば登場します。弱者でも追いつめられると強者に逆襲するという意味の「窮鼠猫を噛む」や、前ぶれの騒ぎばかり大きくて、実際の結果は極めて小さいことの例えである「泰山鳴動して鼠一匹」などは、よく知られています。「頭の黒い鼠」とは、頭髪の黒い人間をネズミになぞらえて、物を盗む人のこととです。「鼠の嫁入り」は、あれこれと選んでみても、結局変わりばえしないところに落ち着くという例えです。

さて、今年十二支のトップは、天災や事件の多い暗い年でしたが、今年気分一新して、いい年になりますように。

平成7年 国勢調査 速報

平成7年10月1日に実施されました国勢調査も、皆様のご協力のもと無事完了することができました。なお、おおまかな結果が発表されましたのでお知らせいたします。

人口 **5,793人**

男 **2,751人**

女 **3,042人**

世帯数 **1,788世帯**

人口の前回(平成2年)比較 **10人増**

写真で見る 津奈木町の1年

昨年一年間は、日本全国が揺り動かされた一年でした。年明け早々に起った阪神大震災に始まり、地下鉄サリン事件、その他のオウム関係のニュースが、新聞・テレビ・ラジオで毎日のように報道され、心の痛むものでした。

そのような激動の中で、津奈木町ではどのような事があったのでしょうか。昨年一年間を写真で振り返って見ました。



シンボルマークも決定

両方面で住みやすい街づくりを推進して行きます。これに先立ち、五月には「芦北七浦パークコースト」のシンボルマークも決定しました。

●四季彩一周年

五月十八日、オープンから一年で入館者二十万人を突破。平成六年にオープンして以来モノレールで行く露天風呂などで話題をよび、テレビや雑誌に取り上げられ、当初予想の二倍の速さでの二十万人突破でした。



5月で1周年、20万人目を迎えた

●津中コーラス部 優良賞を受賞

十一月三日、津奈木中学校コーラス部が「熊日学生音楽コンクール」に出場し、優良賞を受賞した。

おとしし九月に結成され二年目の去年、初出場での受賞でした。文化の香り高い町を目指し、それぞれの分野で文化活動が活発に行われています。



●新しい特産品 お目見え

二月、グリーンゲイトを中心に農協や漁協などで取り組んでいた特産品開発事業で十種類の特産品が商品化された。甘夏饅頭やようかん・このしるの天ぷら・鯛飯の素など好評で、農・漁業の活性化が期待されます。

振り返って'95

●広域行政が 動き始める

十月一日に、水俣芦北消防組合・衛生施設組合・し尿処理組合・水俣芦北広域市町村圏協議会が統合され、水俣市と芦北郡四市町で構成する「水俣芦北広域行政事務組合」が設立。今や生活圏も広がり、広域で協力して効率の良い事業を行う時代となり、ハード、ソフトの

●一次産業の 拠点が整備

五月九日、あしきた農業協同組合津奈木基幹支所が以前の国道沿いから、役場横に移転・新



新築されたJAあしきた津奈木基幹支所

●子供議会も開催

十一月十一日・十二日、つなぎふれあい祭が開催。四回目となった昨年は、水俣芦北地域振興基金の活用でドッジボール大会や子供議会、独身男女の交流会などの新しい企画を盛り込んだ。特に子供議会で



初めての議場で質問をする岩崎さん(津中)

●気持ちを引き締め 平成8年スタート

これらの他にも町の行事など色々なことがありました。それぞれ皆さんの心のなかでも楽しかった事、嫌だった事など思い出として残っているといます。今年、より一層楽しい思い出の残る充実した一年間として過ごしたいものですね。皆さんにとって、この一年が良い年でありませうように。



つなぎ温泉四季彩・グリーンゲイト

お正月休館のお知らせ

●つなぎ温泉四季彩

1月1日(月)・10日(水)

●物産ギャラリーグリーンゲイト

1月1日(月)・3日以外の水曜日

※1月3日(水)は両方とも営業致します。

ご存じですか? 国民健康保険 こんな時は 14日以内に届け出ましょう

世帯全員又は一部に次のような異動があった場合、世帯主は14日以内に国保の担当窓口まで届け出なくてはなりません。

こんなとき 届け出に必要なもの

国保にはいるとき	他の市区町村から転入してきたとき。	印かん、他の市区町村の転出証明書。
	職場の健康保険をやめたとき。	印かん、職場の健康保険をやめた証明書。
	職場の健康保険の被扶養者でなくなったとき。	印かん、被扶養者ではない理由の証明書。
	子どもが生まれたとき。	印かん、保険証、母子健康手帳。
	生活保護を受けなくなったとき。	印かん、保護廃止決定通知書。
国保をやめるとき	他の市区町村に転出するとき。	印かん、保険証。
	職場の健康保険に入ったとき。	印かん、国保と職場の健康保険の両方の保険証(後者が未交付の時は加入したことを証明するもの)
	職場の健康保険の被扶養者になったとき。	印かん、保険証、死亡を証明するもの。
	国保の被保険者が死亡したとき。	印かん、保険証、保護開始決定通知書。
	生活保護を受けるようになったとき。	印かん、保険証、年金証書。
その他	退職者医療制度の対象となったとき。	印かん、証明証。
	同じ市区町村内で住所を変ったとき。	印かん、在学証明書。
	世帯主や氏名が変わったとき。	印かん、身分を証明するもの(使えなくなった保険証など)
	世帯主が分かれたり、いっしょになつたとき。	
	出かせぎや、長期旅行に行くとき。	
	修学のため、別に住所を定めるとき。	
	保険証をなくしたとき(あるいは汚れて使えなくなったとき)	

交通事故のない町に

園児の交通安全教室



あわただしい年末年始の交通事故防止の一環として、十一月二十四日B&G体育館前で白バイ隊による園児の交通安全教育が開かれました。

当日は、津奈木幼稚園、津奈木保育園、津南保育園、水俣保育園の園児約三百名が参加し、女性白バイ隊の交通講話や横断歩道の渡り方、白バイ隊の模範運転などがあり、園児たちは楽しみながら交通ルールのお勉強をしました。

老人クラブ交通安全

リーダー研修会

十一月二十七日に総合グラウンドで「熊本県老人クラブ交通安全リーダー等研修会」が水俣市と芦北郡の老人クラブの代表者を対象に開かれました。

この研修会は、熊本県と熊本県交通安全推進連盟が、高齢者の交通事故が増加しているなか各地域の老人クラブに専門的知識を持った指導者(リーダー)を育成し、高齢者に対する交通

お誕生おめでとう!!

平成6年12月21日から
平成7年12月21日届出
までの出生児

地区	出生児	保護者	生年月日	地区	出生児	保護者	生年月日	地区	出生児	保護者	生年月日
竹中	濱田 雅士	一 智	6.12.19	染竹	大塚 陸	克 則	7. 4. 3	丸岡	石井 さやか	健 司	7. 7. 21
桜戸	伊藤 真耶	光 幸	6.12.22	小津奈木	長田 みらい	芳 郎	7. 4. 12	古中尾	原野 誠也	忠 継	7. 7. 25
川内	志崎 琢弥	一 志	6.12.28	染竹	鶴野 勝利	隆 雄	7. 5. 1	日当	上村 香琳	勝 法	7. 8. 24
小津奈木	稲村 俊亮	浩 信	7. 1. 22	古川	森 かなえ	浩 二	7. 5. 4	丸岡	都甲 淳一郎	智 博	7. 8. 27
日当	伊藤 晃浩	雄 二	7. 1. 27	丸岡	山下 正義	聖 也	7. 5. 12	丸岡	有村 くるみ	敏 郎	7. 8. 28
上下門	坂本 智美	輝 一	7. 2. 1	丸岡	前田 朋代	一 彦	7. 5. 20	日添	佐々木 愛美	良 治	7. 9. 3
竹中	山崎 沙友里	孝 義	7. 2. 4	竹中	遊亀 広康	英 徳	7. 5. 29	平国下	濱田 昇吾	伸 吾	7. 9. 8
浜崎	金子 遥	靖	7. 2. 21	上下門	田口 瑞希	伸 二	7. 5. 30	竹中	山崎 弘貴	克 司	7. 9. 8
丸岡	國本 玲佳	尚	7. 2. 21	平国下	長濱 修平	修 一	7. 6. 2	丸岡	林田 裕太	継 徳	7. 9. 17
古中尾	山崎 貴裕	繁 治	7. 2. 22	古中尾	久村 悠太郎	庄 次	7. 6. 13	桜戸	浦口 里奈	明	7.10.11
平国下	野崎 明里	昭 三	7. 2. 22	桜戸	山口 智瑛和	竜 治	7. 6. 13	浜崎	山本 克己	正 勝	7.10.18
辻	長濱 千奈美	敬 吾	7. 2. 22	丸岡	中村 遼太郎	光 一郎	7. 6. 20	浜崎	鬼塚 久美子	久 司	7.11.14
浜崎	村浪 まどか	善 治	7. 3. 17	染竹	榎本 晴香	康 宏	7. 7. 4	日添	林田 翔平	継 人	7.11.19
倉谷	丸山 紫帆	久 雄	7. 3. 26	古川	高橋 夢巴	秀 也	7. 7. 13	日添	久野 智博	正 峰	7.11.24
竹中	開田 早紀	光 幸	7. 3. 27	中尾	農添 なつき	三 之	7. 7. 19	浜崎	大園 りつ子	廣 人	7.11.26
倉谷	丸田 知華子	良 友	7. 4. 1	福浦	福田 美里	浩 徳	7. 7. 21	丸岡	日當 奏子	健 二	7.12.13

INFORMATION 暮らしの情報

福祉係より

保育所入所希望児童

保護者面接調査について
平成八年度、保育所入所希望児童保護者の面接調査を次の日程で行います。

期日	対象地区	会場時間
1月10日	新川大泊 日当 平国上 平国下 日添 小津奈木	役場1階 和室 AM9:00~PM3:00
1月9日	桜戸古川 福浦 平国上 平国下 日添 小津奈木	
1月10日	竹中染竹 浜崎町中 倉谷中尾 上下門 古中尾 内野 川内丸岡	

保護者の方のご出席をお願い致します。

衛生係より

三種・二種混合

予防接種の実施

次の日程で、一回目の三種(

百日咳・ジフテリア・破傷風)及び二種(ジフテリア・破傷風)混合予防接種を実施します。

一、日時及び場所
平成八年一月十一日(木)
受付時間 午後一時~二時
津奈木町改善センター

二、対象者
平成四年一月一日から、平成六年六月三十日までの出生児
※受診時は、母子健康手帳及び印鑑を必ず御持参下さい。

国民年金係より

成人式を迎えられた皆さん
国民年金の加入手続きをしましょう

成人されたみなさん、おめでとうございます。晴れて大人の仲間入りですね。

20歳になると、お酒、選挙権などいろいろな権利も得ますが同時に国民年金に加入する義務も生じます。

国民年金制度は、20歳から60歳までのすべての人が加入する制度です。また、老齢や障害等級に該当するようになったとき年金を支給し、生活の安定を図ります。

20歳になったら、将来に備え

通信制高校で 学んでみませんか

県立湧心高等学校では、仕事などの都合で毎日通学できない人のために「通信制課程」の生徒を募集します。入学試験や年齢制限がなく、生涯学習を目指す人などに良い制度です。

▼受付期間 二月二十日、三月二十一日迄

▼諸経費 年間一万八千円程度
詳しくは☎〇九六一三三七二一五三七二湧心館高等学校まで。

警察署より

一月一〇日は「一一〇番」の日

県民の方々からの一一〇番は、年間四万件を越える事件・事故の解決に大きな役割を果たしています。

あなたの勇気ある一一〇番が地域の人々の平穏な生活を支えているのです。

●一一〇番は「緊急通報用」です。事件・事故・災害などのときに使いましょ。

幼稚園児 の募集

平成八年度津奈木幼稚園の園児を次の通り募集します。

一、募集人員

※四歳児 平成三年四月二日~平成四年四月一日までの出生児 四十名

※五歳児 平成二年四月二日~平成三年四月一日までの出生児 八十名

二、申込先
教育委員会事務局へ申し込んで下さい。(申請書用紙は事務局にあります。)

三、申込期間
平成八年一月十日から平成

「寄附お礼」 (敬称略)

地区 世帯主 故人

町中 澤田 伸行 ミツ子

大迫 柳迫 信義 サダオ

古川 吉山 武光 スエヲ

日当 伊藤 隆泰 正人

福浦 福山 勝彦 末人

福浦 松崎 登末 人

川内 宮崎 真澄 哲

大泊 森山 ミツエ 福松

右のかたがたから町社会福祉協議会へ香典返しとして金一封を寄附いただきました。この寄附金は、ご意志に添い有効に利用させていただきます。故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。

「寄附お礼」

美術品取得基金へ
生協水光社 家庭会 様

右の方よりご寄附いただきました。誠に有難うございました。

八年一月三十一日まで。
詳しくは、教育委員会までお尋ね下さい。